



関中学校だより

第3号 平成28年6月30日

ホームページアドレス <http://www.seki-j.nerima-kyo.ed.jp/>

生徒会 熊本地震救済募金活動

校長 勝亦章行

熊本地震は、平成28年4月14日から発生した一連の地震です。4月14日・16日に、震度7の地震が発生。震度7（最大震度）が2回。その後1500回以上の地震が続き、熊本県だけでなく大分県にも連動した地震も発生し、多くの家屋や構造物が壊れ甚大な被害を起しました。熊本県の象徴でもある熊本城も無残な姿となってしまいました。現在でも地震は収束していません。そして今、梅雨の時季となり、九州地方は大雨にさらされ、その被害も大きなものがあります。地盤が地震で緩んでいるからか、土砂崩れも起きています。大変な状況にあります。

関中生徒会では、この一連の熊本地震に対して救済募金活動を行うことを決め、生徒会役員や中央委員が協力し、6月24日（金）～26日（日）の3日間実施しました。25日（土）は、大泉学園駅南口で。26日（日）は、武蔵関駅北口で行いました。校外での募金活動は、石神井警察に届を出す必要があり、生徒会担当の先生が行いました。募金箱やたすき、スローガンは生徒の手作りです。

募金金額よりも募金活動を行うことに意味があり、それが自主的実践的な活動である生徒会活動であることの意味は大きなものがあります。集まったお金は、赤十字を通じて、熊本県に送金されます。

6月25日大泉学園駅南口（パスロータリー）

- ・募金しながら、「関中学校。わざわざ関から来てやっているのね。ご苦労様」（卒業生保護者）
- ・「関中が、懐かしいなー」と言って、小さい子供にお金を託して募金してくれたお父さん（卒業生?）
- ・前を自転車で通り過ぎた後、わざわざ戻ってきて、募金してくれた人が何人もいた。（何人も）
- ・お年寄りが、1000円札を募金してくれ「ご苦労様、頑張ってるね」と声をかけてくれた。（何人も）
- ・タクシー乗り場から、タクシーの運転手さんが、わざわざタクシーを降りてきて募金してくれた。（2・3人）

6月26日武蔵関駅北口（階段下）

- ・「大きな声がしたので何かと思って外に出たら、中学生が募金活動していたので、お金を取りに家に戻った」と募金してくれた。（近所の男性）
- ・「中学生に、募金をお願いされたら、入れないわけにいかないわ」と言いながら募金してくれた。（中年女性）
- ・前を通り過ぎた後、階段の途中で、財布からお金を出し、「足が悪いから、取りに来て」と生徒を呼んで、募金をしてくれた杖をついたお年寄り。
- ・駅前のコンビニエンスストアで買い物をした後、おつりを入れに来て募金してくれた人。（多数）
- ・募金しにわざわざ駅前に寄ってくれた三年生や保護者。
- ・通りがかった卒業生や卒業生の保護者が、何人も募金してくれた。
- ・募金活動をしている関中生をみて、「あれが関中の制服だって、可愛いね」と言って子供にお金を託して募金してくれた人（小学生の母親）
- ・「私も前、ここで募金活動しました」と言って募金してくれた元生徒会役員の卒業生。

募金活動の報告は、6月27日（月）の生徒会朝礼で、大竹生徒会長より全校生徒に報告されました。総額、およそ29万円にもなり、関中学校が地域の方々を支えられていることを実感した募金活動でした。

募金していただいた方々の関中生への励ましの一言が、活動した生徒一人一人にとって、とても素晴らしい経験になったと思います。募金を通して、人の心のあたたかさを感じた募金活動でした。

校長として、募金していただきました地域の皆様、保護者の皆様に感謝いたします。また、募金した関中生に対しても感謝の気持ちを伝えたい。

6月・7月 行事予定

日	曜	予定
1	水	3年区学力調査
4	土	3年修学旅行（奈良京都方面）始
6	月	3年修学旅行終
7	火	3年振替休業日
8	水	3年振替休業日 PTA運営委員会
10	金	学校公開日、英語検定
11	土	学校公開日、道徳授業地区公開講座、第1回進路説明会
13	月	全校朝礼
21	火	期末考査（英語・美術・技術家庭）
22	水	期末考査（国語・音楽・理科）
23	木	期末考査（社会・保健体育・数学）
24	金	募金活動始・小中校区別協議会
26	日	募金活動終
27	月	生徒会朝礼、SC来校、PTA運営委員会、教育相談委員会
29	水	生徒委員会
30	金	中央委員会
7月		
1	金	避難訓練、SC来校
4	月	全校朝礼、SC来校、2年三者面談
5	火	2年オーケストラ鑑賞教室、心の相談員来校
6	水	三者面談
7	木	1,3年三者面談、2年都学力調査
8	金	三者面談、漢字検定、心の相談員来校、臨海学校事前健康相談
9	土	全校道徳、合唱コン実行委員会
11	月	生徒会朝礼、三者面談、SC来校
12	火	全校三者面談
13	水	全校三者面談
15	金	教育相談委員会、心の相談員来校
18	月	海の日（祭日）
19	火	セーフティ教室、大掃除
20	水	1学期終業式、成績相談日～21日



関中学校の中庭での募金活動の様子



大泉学園駅南口での募金活動の様子



襷やプラカードや募金箱は生徒の手作りです。



生徒会役員、生徒会中央委員、有志の生徒が活動



多くの方々から、温かい復興支援金をいただきました。

受け取った募金の金額	
6月24日(金) 関中にて	(午前8時~8時15分)
22,138円	
25日(土) 大泉学園駅南口	(午前10時~午後1時)
124,920円	
26日(日) 武蔵関駅北口	(午前10時~午後1時)
141,981円	
総額 289,039円	
ありがとうございました。(関中生徒会)	

3年修学旅行(6月4日~6日 京都・奈良)

スローガン「完全無欠 ~Let's Japanese history~」

誰一人欠けることなく日本の歴史に触れ、それを感じてほしい。との思いや考えが込められています。

行程	6月4日(土) 東京駅	京都駅	法隆寺	薬師寺	東大寺	旅館こうろ
	新幹線		バス	バス	バス	バス
	6月5日(日) 京都市内班行動	夕食後に、六角会館で「清水焼き絵付け体験」				
	6月6日(月) タクシー班行動	京都駅	東京駅	自宅へ		
			新幹線			



奈良斑鳩 法隆寺の金堂と五重塔



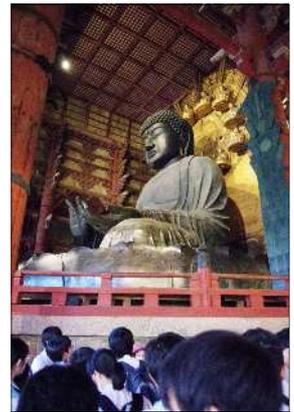
ガイドさんから説明を受ける生徒たち（法隆寺）



薬師寺のお坊様からの説法（為になる話でした）



奈良薬師寺の西塔



奈良東大寺の大仏
（盧舎那仏）



奈良東大寺の大仏殿前で記念撮影（3年B組）



実物大の大仏の左手（とても大きい!!）



奈良公園の立派な角がある雄鹿（鹿 動じません）



2日目の京都市内班行動の様子（清水寺付近）



宿舎こうろ近くの六角会館での
清水焼きの絵付け体験

3年生として最後の宿泊的行事である修学旅行。2日目の午前には少し雨が降りましたが、大きなケガ、事故なく予定していた日程で修学旅行を終えることができました。

スローガンの通り、日本の歴史に触れ、その素晴らしさを感じた旅行でした。薬師寺のお坊様の説法から、日本の悠久の歴史と日本の素晴らしさを聞き、また若者としてよりよく生きるために何が大切かなど、考えさせられる話も聞くことができました。よい思い出がたくさんできた修学旅行でした。

第1回学校公開週間 及び 道徳授業地区公開講座（6月11日）

今年度第1回目の学校公開週間を、6月10日（金）、11日（土）の2日間実施しました。2日間に来ていただいた人数は、198人（来賓2人、小学校保護者23人、小学生24人、1年保護者89人、2年保護者32人、3年保護者28人）でした。

そして、道徳授業地区公開講座を11日（土）に、「命」をテーマに行いました。道徳授業地区公開講座では、1校時には、全学級で以下の資料を使って学級担任が道徳の授業を実施

1年「キラリ道徳1」より「生きるってどんなこと？」

命の重さが違う？ 命は自分だけのもの？
命に替えがある？・・・命とは、生きるとは、どんなことを考える・・・

様々な観点から「生きる」ということについて考えることにより、命の連続性や偶然性、そして有限性にきづき、かけがいのない命を尊重する態度を育てる。



1年D組（堀学級）

2年「キラリ道徳2」より「命ということ」

ある少年は、父親の仕事の関係でドイツの学校に通っている。ある日、先生と友人と農場へ行き、豚の解体とソーセージ作りを見学に行った。解体される豚に触ったときのあたたかさが、言葉以上のものを伝えてくれた・・・

命の尊さを理解し、自他の命を尊重する心情を養う



2年C組（深井学級）

3年「キラリ道徳3」より「和田真由美さんの手記」

「骨髄性白血病」と診断された和田真由美さんの手記。弟から骨髄移植をして助かった命。病気という体験を通して何を考えたのか。病気という体験は、当たり前のように生活してきた自分に「生きる」という課題をもたらした・・・

人の命は有限であり、かけがいのないものであることを理解し、命を尊重する態度を育てる。



3年A組（木積学級）

同じ資料を使っても学級担任の人柄が出た各道徳の授業でした。



斉郷先生の講演の様子



犬猫の数は子どもの数より多い！

2校時・3校時は、公益財団法人動物環境・福祉協会 Eva の斉郷 恵先生に、「命と向き合う」というテーマで講演を聴きました。

斉郷先生は、公立中学校の国語科の教師を32年間務め、その後 Eva に勤務された方です。

この Eva は、動物の健康と命の尊厳を守るため

動物の幸せとは何かを、動物の目線になって考え、最善を尽くしている団体です。

講演内容は、ペットの命は誰のものか？ 家族として大切にされている犬猫たちがいる一方、動物の安易な放棄、それに伴う殺処分、動物の遺棄、虐待がつづいている。動物たちがおかれている現状から、命の大切さ、命をあずかる責任について考える。という内容でした。

斉郷先生の講演の生徒の感想より

・人間の自分勝手な事情で捨てられた動物たちが、そのまま尊い命をなくしてしまうということがとても悲しかった。
人間と動物たちと共存して暮らすことはとても大変なこと。一匹でも悲しい思いをさせないように、飼うならば責任をとり、飼わないのであれば近所ののら猫などに、ひどいことをしないようにしたい。

命は自分だけの命ではなく、つながっている命であり、かけがいのない命であり、一度なくしたら決して戻すことができない命である。自分の命を大切にすることは、友人や動植物の命も大切にすることにつながる・・・そんな様々な命について考える機会に、道徳授業地区公開講座になったと感じます。(校長)

第1回校區別協議会(6月24日)

練馬区では小中一貫教育を重要施策として実践しています。練馬区内にある公立小学校と公立中学校は、練馬区教育委員会が定めたグループで、研究を進めています。関中グループは、関中学校、石神井台小学校、関町北小学校の三校が、一つの研究グループに指定されています。

第1回校區別協議会が6月24日に、関中学校で開催されました。同じグループの石神井台小学校、関町北小学校以外に、新1年生の出身小学校の一つでもある大泉第二小学校の先生にも参加してもらいました。(大泉第二小学校の先生には、第1分科会に参加。)

関中学校の5校時の授業を小学校の先生方に参観してもらい、以下の分科会に分かれて、協議を行いました。

- 第1分科会 新中1年生分科会** 関中学校1年生の様子について、小中で情報交換をする。
- 第2分科会 教科分科会** (国語部会、算数・数学部会、外国語活動・英語部会)
小中学校9年間を踏まえた学習指導上の課題改善について協議
- 第3分科会 小中交流分科会** 小中学校間の様々な交流について協議
- 第4分科会 スタンダード分科会** 小中学校の授業規律、学校SNSルール策定について



第4分科会(スタンダード分科会)



第3分科会(小中交流分科会)

第2回校區別協議会は、関中グループ(関中、石神井台小、関町北小)で、平成28年11月17日(木)石神井台小学校で開催されます。今後、小中間児童生徒の交流事業が進められていきます。

6月「ふれあい月間」での全校朝礼 校長講話より（6月13日 月曜日）

「ふれあい」という言葉。その意味は、「心を通わせること・・・」
君たちでは、友人間の関係になるか？ いわゆる友人関係。友だち関係。
友人関係も悪い面も残念ながらある。友人間のトラブル、それが「いじめ」につながってしまいうことも
ある。

ところで、「いじめ」・・・

この「いじめ」は、いじめ防止推進法第4条で禁止されている。「いじめ」をすれば法律違反になる。
法律違反になるから「いじめ」をやってはいけないのか？ 確かにそれも間違いではない。

しかし、「いじめ」をやってはいけない本当の理由は、「いじめ」が人権侵害になるからです。もっと
と分かり易く言えば、「いじめ」を行うことは、「いじめている相手を、人間として扱っていない！」と
いうことになります。

今は「いじめ」の定義が以前のものと異なり、「一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻
撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じるもの」と定められています。いじめを受けた者が、いじ
めを受けていると思えば、いじめになります。今は、いじめられている人を最大限配慮しています。

ところで、「関中学校は、いじめを認める」と言ったらどうな学校になるだろうか？

いじめを受けて先生に訴えても先生は何もしてくれない。いじめで不登校になっても、大きな怪我をし
て入院しても学校は対応をしてくれない。そんなことが繰り返されれば、現在540人いる生徒が、一
人減り、二人減り、最後は生徒一人の学校になってしまうかもしれません・・・

皆さんは、関中学校がそんな学校になると思いますか？ 校長先生は、思わない。学校が、いじめを
認める、許すと言っても、「誰かがいじめを止めよう！」と声を出し、いじめを受けている友人を助け
ると思う。それは、人間は理性があるからです。理性とは、きちんとした考えや判断に則って行動する
力です。他の動物のように本能でなく、思考に基づいて行動する力です。校長先生は、関中生にはその
力があると信じています。いじめは人権侵害の行為です。理性ある人間としていじめを行わないように。

（何かあったら、相談することは当たり前です。生徒には、相談先を印刷したものを渡しています。）

練馬区立学校教育支援センター 子供電話相談 03-5998-0091

東京都いじめ相談ホットライン 0120-53-8288（24時間受付）

ネット・ケータイのトラブル相談 こたエール（東京都青少年治安対策本部青少年課）0570-783-184

いろいろな面で頑張っている生徒会各種委員会



保健委員会 5月のキャンペーン
ハンカチチェック 結果発表（保健室前廊下）



生徒会朝礼（6月27日）で、図書委員会が
本の紹介をしました。

私が紹介する本は、星新一のショートショ
ートセレクションの中の一つ「ねむりウサギ」
です。この本は、短くておもしろい話が10
～20話あります。中でもお薦めするのが、
ねむりウサギという話です。
この話は、ウサギが侮辱されてカメに競走
を申しこみ、2匹は競走します。ウサギはカ
メに負けてしまってから一生懸命努力しなが
ら何回も競走する話です。この本とそのシリ
ーズは、図書館にもあるので、ぜひ読んで下
さい。（関中図書委員会）

1学期終業式は、7月20日（水）です。通知表を渡します。

成績相談日は、7月20日（水）・7月21日（木）です。

関中学校は、通知表配付した後に、成績について様々な相談をする時間を設けています。活用して下
さい。ただし、21日は夏休みに入っているのので、相談する場合は、担当教科の先生に事前に電話をし
て下さい。出張や部活動の練習等で、全日学校にいない場合があります。よろしくお願いします。